



## 2020年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月9日

上場会社名 小津産業株式会社  
 コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今枝 英治  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 稲葉 敏和  
 定時株主総会開催予定日 2020年8月27日 配当支払開始予定日 2020年8月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年8月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3661-9400

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期の連結業績(2019年6月1日～2020年5月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	40,941	0.3	505	13.9	571	13.0	570	32.5
2019年5月期	41,081	1.6	587	25.6	656	21.7	430	29.6

(注) 包括利益 2020年5月期 951百万円 ( %) 2019年5月期 784百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年5月期	68.12		3.9	2.4	1.2
2019年5月期	51.45		3.0	2.8	1.4

(参考) 持分法投資損益 2020年5月期 2百万円 2019年5月期 1百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	25,042	14,944	59.6	1,782.74
2019年5月期	22,562	14,138	62.6	1,687.57

(参考) 自己資本 2020年5月期 14,935百万円 2019年5月期 14,126百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年5月期	253	2,316	69	2,569
2019年5月期	374	1,188	163	4,566

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年5月期		0.00		19.00	19.00	159	36.9	1.1
2020年5月期		0.00		21.00	21.00	175	30.8	1.2
2021年5月期(予想)		0.00		21.00	21.00		37.4	

### 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.3	600	18.6	640	12.0	470	17.6	56.12

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期	8,435,225 株	2019年5月期	8,435,225 株
期末自己株式数	2020年5月期	57,273 株	2019年5月期	64,365 株
期中平均株式数	2020年5月期	8,375,598 株	2019年5月期	8,368,744 株

(参考) 個別業績の概要

2020年5月期の個別業績(2019年6月1日～2020年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	10,321	13.5	386	10.2	449	7.5	488	66.3
2019年5月期	11,930	1.8	430	22.9	485	21.2	293	34.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期	58.35	
2019年5月期	35.11	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年5月期	20,887		14,205		68.0		1,695.54	
2019年5月期	18,775		13,440		71.6		1,605.68	

(参考) 自己資本 2020年5月期 14,205百万円 2019年5月期 13,440百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年6月1日～2020年5月31日)におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響から製造業にやや弱い動きが見られるものの、雇用・所得水準の改善等による内需に支えられ、緩やかな回復基調が続いておりました。しかし、昨年10月の消費増税の影響による個人消費マインドの低下が表面化するさなか、新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界経済に深刻な打撃を与え、先行きは極めて不透明な状況となりました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、「小津グループ中期経営計画2021」に掲げる経営基盤の強化と更なる成長ステージを目指し、営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は409億41百万円(前期比0.3%減)、経常利益は5億71百万円(前期比13.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億70百万円(前期比32.5%増)となりました。

#### <不織布事業>

エレクトロニクス分野では、新型コロナウイルスの影響により、クリーンルーム用マスク等が衛生用途に転用され、需要の増加があったものの、主に中国および東南アジア地域における半導体・電子部品メーカーの稼働率低下の影響を受けたため、売上高、利益面とも前年比横ばいとなりました。

メディカル分野では、総じて販売が堅調に推移していたことに加え、新型コロナウイルスの影響により、衛生材料の販売が増加したため、売上高、利益面とも前年を上回りました。

コスメティック分野では、東アジア市場向けおよび国内向け販売が減少したことにより、売上高、利益面とも前年を下回りました。

小津(上海)貿易有限公司では、エレクトロニクス分野向け以外の販売が復調し、売上高は前年を上回りましたが、利益面は前年比横ばいとなりました。

除染関連分野につきましては、国内電力会社等に向けての販売活動を継続して実施した結果、採用され売上実績がありました。

ウエットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、新型コロナウイルスの影響により除菌ウエット製品の需要が急増し、売上高は前年を上回ったものの、新本社工場稼働に伴う減価償却費の増加等により利益面は下回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、海外および、関西・九州地区における販売が減少したことにより、売上高、利益面とも前年を下回りました。

これらの結果、売上高は134億56百万円(前期比10.1%減)、セグメント利益4億15百万円(前期比36.6%減)となりました。

#### <家庭紙・日用雑貨事業>

当事業を担うアズフィット株式会社につきましては、新型コロナウイルスの影響で、マスク需要等が急増し、売上高、利益面とも前年を上回りました。

この結果、売上高は273億69百万円(前期比5.3%増)、セグメント利益49百万円(前期は77百万円のセグメント損失)となりました。

#### <その他の事業(除菌関連事業および不動産賃貸事業)>

除菌関連事業を営むエンピロテックジャパン株式会社では、過酢酸製剤の知名度を上げる地道な活動と、販売代理店への販促活動並びに食品殺菌用途および畜産分野の防疫対策用途に向けた拡販に注力したことにより、売上高、利益面とも前年を上回りました。

不動産賃貸事業につきましては、売上高は、前年を下回ったものの、修繕維持費が減少したこと等により利益面はほぼ横ばいとなりました。

これらの結果、売上高は1億15百万円(前期比2.3%増)、セグメント利益は40百万円(前期比400.5%増)となりました。

(注) 日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当連結会計年度には各社の2019年3月から2020年2月までの実績が、株式会社ディプロおよびエンピロテックジャパン株式会社の決算期は3月末日のため、当連結会計年度には各社の2019年4月から2020年3月の実績が反映されております。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は、「受取手形及び売掛金」20億47百万円の増加、「現金及び預金」21億96百万円の減少等により、前期比2億48百万円減少の137億38百万円となりました。固定資産は、「建物及び構築物(純額)」17億29百万円の増加、「土地」6億37百万円の増加、「投資有価証券」5億67百万円の増加、「建設仮勘定」8億49百万円の減少等により、前期比27億28百万円増加の113億4百万円となりました。

この結果、資産合計は前期比24億80百万円増加の250億42百万円となりました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は、「支払手形及び買掛金」10億55百万円の増加、「短期借入金」2億円の増加等により、前期比14億78百万円増加の77億15百万円となりました。固定負債は、「繰延税金負債」1億48百万円の増加等により、前期比1億95百万円増加の23億83百万円となりました。

この結果、負債合計は前期比16億74百万円増加の100億98百万円となりました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前期比8億5百万円増加の149億44百万円となりました。これは「利益剰余金」4億11百万円の増加、「その他有価証券評価差額金」3億88百万円の増加等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ19億96百万円減少し、25億69百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と、それらの増減の要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2億53百万円(前期比1億21百万円減)となりました。収入の主な内訳は、「仕入債務の増減額」10億55百万円、「税金等調整前当期純利益」8億16百万円、支出の主な内訳は、「売上債権の増減額」20億48百万円、「有形固定資産売却損益」2億46百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は23億16百万円(前期比11億28百万円増)となりました。収入の主なものは、「有形固定資産の売却による収入」4億1百万円、支出の主なものは、「有形固定資産の取得による支出」28億55百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は69百万円(前期は1億63百万円の使用)となりました。収入の主なものは、「短期借入金の純増減額」2億円、支出の主なものは、「配当金の支払額」1億59百万円であります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、下表のとおりであります。

	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期
自己資本比率(%)	60.7	62.5	62.6	59.6
時価ベースの自己資本比率(%)	80.1	76.5	62.7	60.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.6	8.6	7.4	11.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	49.5	20.3	27.2	18.2

(注)1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出

(注)2. 自己資本比率: 自己資本/総資産

(注)3. 時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額/総資産

\*株式時価総額: 期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式数控除後)

(注)4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債/キャッシュ・フロー

(注)5. インタレスト・カバレッジ・レシオ: キャッシュ・フロー/利払い

\*キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローの数値

\*有利子負債: 連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債

\*利払い: 連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額

(注)6. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2019年5月期の期首から適用しており、2018年5月期に係る自己資本比率、時価ベースの自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## (4) 今後の見通し

2021年5月期における各セグメントの見通しは以下のとおりです。

## (不織布事業)

エレクトロニクス分野におきましては、新型コロナウイルスの影響により自動車関連用途等の需要は減少が予想されるものの、テレワークの拡大や5Gの進展から需要増加が期待できる通信事業分野等への積極的な営業を展開してまいります。メディカル分野におきましては、「新しい生活様式」による衛生意識の高まりから、引続き需要が見込める除菌ウエット製品等の衛生材料の販売を推進するとともに、新製品の開発、販路の拡大を図ってまいります。コスメティック分野におきましては、国内販売は訪日外国人の減少等により需要は弱含むと予想されますが、海外市場では、中国等に復調の兆しが見られます。グループシナジー効果を発揮し、新事業、新商品の創造に注力してまいります。除染関連分野につきましては、品質・性能の向上や用途開発を進め、電力会社等での採用事例の積上げを図ってまいります。株式会社ディプロにつきましては、2020年2月3日に竣工いたしました新本社工場での製造機能を活用し、引続き需要が期待できる除菌ウエット製品を中心に、営業力を強化し提案型ビジネスを推進してまいります。日本プラントシーダー株式会社におきましては、天候不順、自然災害等の影響が懸念されるものの、落花生やコーンなどの大粒子テープの普及に注力するとともに、新たな播種機材の開発を進め、販路開拓に取り組んでまいります。

## (家庭紙・日用雑貨事業)

家庭紙・日用雑貨事業を営むアズフィット株式会社におきましては、取引先による商流の変更や物流費の高騰等、厳しい事業環境が継続することが予想されます。引続き採算性を軸とした経営に努めるとともに、グループ各社のシナジー効果を発揮して付加価値の高いオリジナル商品の開発や新たな販路拡大に取り組んでまいります。

## (その他事業)

除菌関連事業を営むエンビロテックジャパン株式会社におきましては、食品殺菌用途および、畜産分野の防疫対策用途として過酢酸製剤の販促活動を積極的に行ってまいります。

これらの結果、2021年5月期の通期連結業績予想は、売上高400億円、営業利益6億円、経常利益6億40百万円、親会社に帰属する当期純利益4億70百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により連結財務諸表を作成しております。

国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外における今後の動向を踏まえて判断する予定であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,766,637	2,569,712
受取手形及び売掛金	6,333,386	8,380,532
商品及び製品	1,706,641	1,507,900
原材料	562,299	602,081
その他	617,944	677,993
貸倒引当金	△604	△183
流動資産合計	13,986,305	13,738,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,146,686	6,856,774
減価償却累計額	△3,472,786	△3,453,682
建物及び構築物(純額)	1,673,900	3,403,091
機械装置及び運搬具	1,654,407	2,107,048
減価償却累計額	△1,325,636	△1,369,076
機械装置及び運搬具(純額)	328,770	737,971
土地	1,634,506	2,272,153
リース資産	28,490	-
減価償却累計額	△26,984	-
リース資産(純額)	1,505	-
その他	367,517	549,995
減価償却累計額	△339,269	△334,081
その他(純額)	28,248	215,913
建設仮勘定	878,204	28,666
有形固定資産合計	4,545,136	6,657,796
無形固定資産		
その他	38,000	87,530
無形固定資産合計	38,000	87,530
投資その他の資産		
投資有価証券	3,413,630	3,980,767
長期貸付金	57,584	56,528
繰延税金資産	26,658	23,261
その他	507,013	508,116
貸倒引当金	△11,412	△9,076
投資その他の資産合計	3,993,473	4,559,597
固定資産合計	8,576,610	11,304,925
資産合計	22,562,916	25,042,962

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,831,693	4,887,229
短期借入金	1,470,000	1,670,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	-
リース債務	1,618	-
未払法人税等	72,869	184,567
賞与引当金	44,833	41,887
その他	795,245	931,547
流動負債合計	6,236,260	7,715,232
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	800,000	850,000
繰延税金負債	628,571	777,249
退職給付に係る負債	166,129	173,775
その他	93,575	82,332
固定負債合計	2,188,276	2,383,357
負債合計	8,424,537	10,098,589
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,380,514	1,385,463
利益剰余金	10,037,914	10,449,393
自己株式	△76,083	△67,719
株主資本合計	12,664,559	13,089,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,464,245	1,852,571
為替換算調整勘定	△2,351	△6,220
その他の包括利益累計額合計	1,461,893	1,846,350
非支配株主持分	11,925	8,670
純資産合計	14,138,378	14,944,372
負債純資産合計	22,562,916	25,042,962



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
売上高	41,081,705	40,941,643
売上原価	35,062,066	34,859,635
売上総利益	6,019,639	6,082,007
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,851,432	1,981,928
貸倒引当金繰入額	289	—
役員報酬	252,699	251,491
給料及び手当	1,401,877	1,414,024
賞与引当金繰入額	29,832	28,554
福利厚生費	287,133	286,676
退職給付費用	62,732	55,246
減価償却費	121,068	87,928
賃借料	111,028	110,403
その他	1,313,845	1,360,023
販売費及び一般管理費合計	5,431,940	5,576,277
営業利益	587,699	505,730
営業外収益		
受取利息	3,608	3,670
受取配当金	61,277	64,487
持分法による投資利益	1,781	—
その他	26,379	22,477
営業外収益合計	93,046	90,635
営業外費用		
支払利息	13,789	13,795
売上割引	3,269	3,033
持分法による投資損失	—	2,931
為替差損	2,744	2,782
その他	4,116	2,303
営業外費用合計	23,919	24,846
経常利益	656,826	571,519
特別利益		
固定資産売却益	185	246,569
投資有価証券売却益	0	38
ゴルフ会員権売却益	—	1,100
受取保険金	—	1,544
特別利益合計	185	249,252
特別損失		
固定資産売却損	681	—
固定資産除却損	2,156	3,799
投資有価証券売却損	13	—
投資有価証券評価損	150	—
特別損失合計	3,002	3,799
税金等調整前当期純利益	654,009	816,972
法人税、住民税及び事業税	214,440	270,224
法人税等調整額	29,334	△20,523
法人税等合計	243,774	249,701
当期純利益	410,234	567,270
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△20,338	△3,254
親会社株主に帰属する当期純利益	430,572	570,524

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
当期純利益	410,234	567,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,190,776	388,325
為替換算調整勘定	△4,069	△3,869
その他の包括利益合計	△1,194,845	384,456
包括利益	△784,611	951,726
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△764,272	954,981
非支配株主に係る包括利益	△20,338	△3,254

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,322,214	1,374,967	9,766,267	△83,552	12,379,897
当期変動額					
剰余金の配当			△158,926		△158,926
親会社株主に帰属する当期純利益			430,572		430,572
自己株式の取得				△23	△23
自己株式の処分		5,546		7,493	13,039
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5,546	271,646	7,469	284,662
当期末残高	1,322,214	1,380,514	10,037,914	△76,083	12,664,559

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,655,021	1,717	2,656,739	32,263	15,068,899
当期変動額					
剰余金の配当					△158,926
親会社株主に帰属する当期純利益					430,572
自己株式の取得					△23
自己株式の処分					13,039
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,190,776	△4,069	△1,194,845	△20,338	△1,215,183
当期変動額合計	△1,190,776	△4,069	△1,194,845	△20,338	△930,521
当期末残高	1,464,245	△2,351	1,461,893	11,925	14,138,378

当連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,322,214	1,380,514	10,037,914	△76,083	12,664,559
当期変動額					
剰余金の配当			△159,046		△159,046
親会社株主に帰属する当期純利益			570,524		570,524
自己株式の取得				△54	△54
自己株式の処分		4,949		8,418	13,367
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,949	411,478	8,364	424,791
当期末残高	1,322,214	1,385,463	10,449,393	△67,719	13,089,351

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,464,245	△2,351	1,461,893	11,925	14,138,378
当期変動額					
剰余金の配当					△159,046
親会社株主に帰属する当期純利益					570,524
自己株式の取得					△54
自己株式の処分					13,367
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	388,325	△3,869	384,456	△3,254	381,202
当期変動額合計	388,325	△3,869	384,456	△3,254	805,993
当期末残高	1,852,571	△6,220	1,846,350	8,670	14,944,372

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	654,009	816,972
減価償却費	293,099	299,153
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,090	△2,757
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,973	△2,946
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,260	7,645
受取利息及び受取配当金	△64,886	△68,158
支払利息	13,789	13,795
為替差損益 (△は益)	△1,600	2,924
持分法による投資損益 (△は益)	△1,781	2,931
有形固定資産売却損益 (△は益)	496	△246,569
有形固定資産除却損	2,156	3,799
投資有価証券売却損益 (△は益)	13	△38
売上債権の増減額 (△は増加)	△123,092	△2,048,262
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△49,398	156,008
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,113	1,055,575
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,563	32,225
その他の資産の増減額 (△は増加)	△31,312	139,121
その他の負債の増減額 (△は減少)	△26,295	184,196
その他	5,171	15,954
小計	662,013	361,574
利息及び配当金の受取額	64,709	68,022
利息の支払額	△13,775	△13,955
法人税等の支払額	△337,961	△163,840
保険金の受取額	—	1,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	374,986	253,345
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,300,789	△2,855,097
有形固定資産の売却による収入	1,418	401,008
無形固定資産の取得による支出	△5,446	△43,700
投資有価証券の取得による支出	△11,529	△9,211
投資有価証券の売却による収入	46,171	104
貸付けによる支出	△20,000	△300
貸付金の回収による収入	1,196	1,496
定期預金の払戻による収入	100,000	200,000
その他	182	△11,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,188,797	△2,316,865
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	—	△20,000
自己株式の取得による支出	△23	△54
配当金の支払額	△159,091	△159,047
リース債務の返済による支出	△4,309	△1,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,423	69,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,793	△2,685
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△972,441	△1,996,925
現金及び現金同等物の期首残高	5,539,079	4,566,637
現金及び現金同等物の期末残高	4,566,637	2,569,712

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う商品・製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、商品・製品・サービス別のセグメントから構成されており、「不織布事業」、「家庭紙・日用雑貨事業」の2つを報告セグメントとしております。

「不織布事業」は、不織布製品の加工、販売及び輸出入を行っております。「家庭紙・日用雑貨事業」は、家庭紙・日用雑貨の卸売、企画販売を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・日 用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,973,231	25,995,894	40,969,125	112,579	41,081,705	—	41,081,705
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,795	10,925	49,721	123,478	173,199	△173,199	—
計	15,012,027	26,006,819	41,018,846	236,058	41,254,905	△173,199	41,081,705
セグメント利益又は損失(△)	655,629	△77,340	578,288	8,118	586,407	1,291	587,699
セグメント資産	7,148,533	5,466,863	12,615,396	839,261	13,454,657	9,108,258	22,562,916
その他の項目							
減価償却費	173,692	89,618	263,310	29,788	293,099	—	293,099
有形固定資産の増加額	1,393,661	9,424	1,403,085	2,488	1,405,574	—	1,405,574

当連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・日 用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	13,456,495	27,369,991	40,826,486	115,156	40,941,643	—	40,941,643
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	48,911	22,216	71,128	124,603	195,731	△195,731	—
計	13,505,406	27,392,208	40,897,614	239,760	41,137,375	△195,731	40,941,643
セグメント利益	415,388	49,847	465,236	40,637	505,873	△143	505,730
セグメント資産	9,032,316	7,803,086	16,835,403	668,970	17,504,374	7,538,587	25,042,962
その他の項目							
減価償却費	209,111	64,600	273,712	25,440	299,153	—	299,153
有形固定資産の増 加額	1,913,060	688,174	2,601,235	3,581	2,604,816	—	2,604,816

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	1,291	△143

セグメント資産

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産(注)	9,108,258	7,538,587

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であります。

3. セグメント利益又は損失及び資産は、連結財務諸表の営業利益及び資産合計と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ココカラファインヘルスケア	5,444,979	家庭紙・日用雑貨事業
オーケー株式会社	4,300,193	家庭紙・日用雑貨事業

当連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
オーケー株式会社	5,023,433	家庭紙・日用雑貨事業
株式会社ココカラファインヘルスケア	5,006,747	家庭紙・日用雑貨事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり純資産額	1,687.57円	1,782.74円
1株当たり当期純利益金額	51.45円	68.12円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	430,572	570,524
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	430,572	570,524
期中平均株式数(株)	8,368,744	8,375,598

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。